

<発表資料>

2022年12月7日22118

～花王×コーセー サステナビリティ領域での協働の取り組み第一弾進捗～ 「化粧品プラスチックボトル水平リサイクルへの取り組み」と「絵具などへの化粧品再生利用の取り組み」 両社の協働を拡大

花王株式会社(社長・長谷部佳宏)と株式会社コーセー(社長・小林一俊)は、持続可能な社会の実現をめざし、化粧品事業のサステナビリティ領域において包括的に協働していくことに合意、両社によるプロジェクトチームで協働取り組みの推進と検討を進めています。本年2月には、その第一弾として、花王が推進する「化粧品プラスチックボトル水平リサイクルへの取り組み」と、コーセーが協力してきた「絵具などへの化粧品再生利用の取り組み」における協働を開始しました。

以降、両社における取り組みが、それぞれ具体的に進んでいます。花王は、2022年11月より、絵具に引き続き、化粧品のインキの色材への再利用についても実現に向けた検証を開始しました。コーセーも、2022年12月より順次、複数のブランドで、ケミカルリサイクルPET(ポリエチレンテレフタレート)素材*1の採用をスタートさせます。

今後も、両社が協働することの社会的意義を踏まえ、さらなる協働拡大と推進の取り組みを強化していきます。現在の具体的な協働取り組みにおける進捗状況は、以下の通りです。

*1 本素材は、化粧品プラスチックボトルから再生されたものではありません

「化粧品プラスチックボトル水平リサイクルへの取り組み」について

花王では、2021年6月より「TWANY(トワニー)」をはじめとするスキンケア商品のプラスチックボトル容器に、株式会社JEPLAN(社長・高尾正樹)のグループ会社であるペトリファインテクノロジー株式会社が製造するケミカルリサイクルPET素材*1を採用しています。さらに今年7月からは、ファンデーションの中皿にも採用をスタートし、こちらも「media luxe(メディア リュクス)」をはじめ採用ブランドの拡大が順調に進んでいます。

また、実際にお客さまから回収した使用済み化粧品ボトルを用いた水平リサイクルも検討を進めており、本年2月から7月末までの期間、店頭にてボトル回収を実施。現在は、店頭回収における課題抽出や、回収後の再生化・実装化に向けた解析作業を進めています。

一方、コーセーでは、スキンケアブランド「雪肌精」1商品と「プレディア」4商品のボトル容器を皮切りに、ケミカルリサイクルPET素材の採用を、22年12月より順次スタートします。

「絵具などへの化粧品再生利用の取り組み」について

コーセーは、2021年3月より、使われなくなってしまったメイクアップ化粧品*2を再生利用し、絵具などの色材を製造・販売する株式会社モーニングター(代表・田中寿典)の取り組みに協力しています。また、本年10月からは、モーニングターと凸版印刷株式会社(代表・麿秀晴)が開発し、東洋インキ株式会社(代表:柳正人)が協業して製造する、メイクアップ化粧品をインキの色材として再利用した「ecosme ink®(エコスメインキ)」の開発に協力。ギフトボックスやショッパーバッグなどの包装資材の印刷に活用していきます。

花王も、この取り組みに賛同し、本年4月より、研究所における品質追求・品質管理の過程で、最終的に商品にならなかった化粧品の、モーニングターへ提供しています。すでに、メイクアップ化粧品を再利用した絵具を活用し、新商品イベントでの塗り絵体験会や子ども向けイベントを実施するなど、取り組みの幅は広がっています。そして、メイクアップ化粧品のインキの色材への再利用の取り組みについても11月より試作と検証を開始するなど、早期実現に向けた検討を進めています。

*2 アイシャドウなどの色のついた粉体のメイクアップ化粧品のこと

花王とコーセーのサステナビリティ領域における協働につきましては、活動テーマに「環境保護・循環社会の実現に貢献する取り組み」「社会課題の解決に貢献する取り組み」を掲げ検討を進めています。今回の「化粧品プラスチックボトル水平リサイクルへの取り組み」と「絵具などへの化粧品再生利用の取り組み」は、「環境保護・循環社会の実現に貢献する取り組み」の一環です。

今後も、企業の垣根を越えて、両社で協働できる取り組みを模索し、持続可能な社会の実現に寄与するソリューションをさまざまな分野で創出していきます。

花王グループは、2019年4月にESG戦略「Kirei Lifestyle Plan(キレイライフスタイルプラン)」を策定しました。また2021年からは、「未来のいのちを守る～Sustainability as the only path」をビジョンに掲げた中期経営計画「K25」をスタートしています。今回のコーセーとの協働は、「Kirei Lifestyle Plan」の重点組みテーマのなかでは「ごみゼロ」に貢献するものです。今後も、花王は、経営にESGの視点を導入することで、事業の発展と、消費者や社会へのよりよい製品・サービスの提供をめざしていきます。そして、豊かな共生世界の実現に向けて取り組んでまいります。

<関連情報>

■花王とコーセーが化粧品事業のサステナビリティ領域で包括的に協働

<https://www.kao.com/jp/corporate/news/sustainability/2021/20211014-001/>

■化粧品でプラスチックボトルの水平リサイクルをめざしケミカルリサイクルPET素材の採用を開始

<https://www.kao.com/jp/corporate/news/sustainability/2021/20210526-001/>

■花王、使用済みボトルの店頭回収と再生化にむけた実証実験を開始

<https://www.kao.com/jp/corporate/news/sustainability/2022/20220127-002/>

■花王、ファンデーションの中皿にケミカルリサイクルPET素材を採用

<https://www.kao.com/jp/corporate/news/sustainability/2022/20220616-001/>

■～花王×コーセー サステナビリティ領域での協働の取り組み第一弾～

「化粧品プラスチックボトルの水平リサイクル」と「絵具などへの化粧品再生利用の取り組み」において花王、コーセーによる協働を開始

<https://www.kao.com/jp/corporate/news/business-finance/2022/20220214-001/>

■花王のサステナビリティ

<https://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/>

■花王、ESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」を発表

<https://www.kao.com/jp/corporate/news/sustainability/2019/20190422-001/>

■未来に向けた「花王グループの新たな挑戦」 ESG経営に大きく舵を切る

<https://www.kao.com/jp/corporate/news/business-finance/2019/20190926-001/>